

天城山縦走(伊豆半島)

【山行日】令和元年5月17~18日 【天気】18日 小雨 【交通】電車・私鉄・タクシー

【集合&出発】17日12:15 野木駅集合 12:22 発(熱海行)

【費用内訳】JR代往復7210円+グリーン車代、伊豆箱根鉄道450円(Suica使えません)

①行)タクシー: 大仁駅周辺の宿より旧天城トンネルまで 7590円÷4人

②帰)タクシー: 天城山登山口(天城高原ゴルフ場)より伊東駅まで 6870円÷4人

宿: オリーブの木(1泊2食、温泉付き)宿泊料金 8000円

一人当たり 約20000円

※帰路)天城山登山口(天城高原ゴルフ場)よりバス有り 最終17:40 発 伊東まで1000円

【参加者】CL:H SL:F U、M 計4名

【登山口】旧天城トンネルまでタクシーが入る 【下山口】路線バスorタクシーで伊東駅

【トイレ】登山口(旧天城トンネル)、八丁池、天城山登山口(天城高原ゴルフ場) 計3ヶ所

【歩行距離】15.5km 【高低差】684m 【行動時間】約9時間

【縦走路の特徴】関東では見かけない巨大ヒメシャラの群生とブナの森

※今年は、天城山のシャクナゲは花付き悪し

【注意】雨天時、もしくは雨天後、万三郎から登山口まで、ぬかるみ多し(足元注意!!)

【感想文】旧天城トンネル右手から登り出す。新緑の時期を幾分過ぎたブナ林の歩きやすい登山道が続く。時折小雨がぱらつき、やがて明るい木肌をしたヒメシャラの木が霧の中に目立ち始める。途中、東国ミツバツツジが数か所で見られ、待望の石楠花も一本、見事に咲いていて皆で歓声を上げる。稜線に出アセビの木が道の両脇を覆いだし、程なくして八丁池に着く。霧って全容が見えない。森林浴を楽しみながら順調に登って百名山、万三郎岳に到着。ここから、シャクナゲコースと案内板にある北に回り込む道を下るが丸太で作られた急坂で、ぬかるんで滑りやすく時間を取られる。石楠花の木は所々に見られるが花はわずか。石のごろつく道に変わり、やっと石楠花の花も遠目に見えだすが登りとは全く違う悪路にあまり楽しむ余裕がないままゴールのゴルフ場に到着。皆さんお疲れさま。楽しいこともキツイ所もあったが自然とはこういうものか。いっぱい花をつけたシャラやアセビの木の中を歩きに、来年は当たり年?の石楠花の花を見にまた来れたらと。 MU

巨大ヒメシャラの群生地



天城山縦走15.5km踏破

